

社会連携に関する主な活動（2023 年度までの主な取組）

（2024 年 5 月）

①学生との連携

- ▶学生が、企業や自治体等と連携し、以下の取組みを行っています。
- ・生活科学部の学生が、千種区役所と連携し、『離乳食レシピ集』を作成。千種保健センター等で配付され、千種区役所のHPでも公開。
 - ・生活科学部の学生が、星ヶ丘三越、「人々（ひとびと）」及びさかい農園と連携し、愛知県の食材を使用したオリジナルスコーンを開発、販売。
 - ・生活科学部の学生が、マルエイガレリアの館内を春・夏・秋・冬などの季節やハロウィン・クリスマスなどの行事に合わせて装飾。
 - ・生活科学部の学生が、東山動植物園の活性化を目的としたイルミネーションを制作し「紅葉ライトアップ」に展示。その一環として、花の形をしたランタン制作のワークショップを実施。星が丘テラスとのコラボレーション企画、星が丘を彩るウィンターイルミネーションも制作。
 - ・文化情報学部が、「あいちワークショップギャザリング」において、電子工作、カッティングマシンや 3D プリンタを活用したワークショップなどを実施。
 - ・文化情報学部の学生が、株式会社読売旅行と連携し、奈良県のツアー商品を企画。
 - ・文化情報学部の学生が、名古屋市教育スポーツ協会と連携して障害者スポーツの紹介映像を制作し、名古屋市サイトで公開。
 - ・現代マネジメント学部の学生が、大垣共立銀行と御菓子司松野屋と連携し、養老町特産ブランド開発プロジェクトの商品を開発、大学祭で販売。
 - ・教育学部の学生が、千種区役所の「オレンジリボンキャンペーン広報・啓発コーナー」のレイアウトを企画、標語募集に応募し最優秀作品に選出された作品が全国的な広報啓発で活用。
 - ・その他、ボランティア活動として、学生が、自治体や学校などから依頼を受け、防災訓練、演奏会、映像制作などの活動を実施。また、ボランティアサークル（「はぴなす」、「うえるかむ」）が、地域の施設で行われるイベントに協力。

※上記以外にも、多数の連携活動が行われています。詳細は、本学のウェブサイト（News 新着情報）をご覧ください。

<https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/social/partnership/>

②受託研究・共同研究

▶教員が、企業、自治体、教育機関などと連携して受託研究・共同研究を行っています。

- ・国立研究開発法人との受託研究
- ・国立大学法人との受託研究
- ・名古屋市との受託研究
- ・水産会社との受託研究
- ・育児関連商品メーカーとの受託
- ・建築金物メーカーとの共同研究

③講師派遣

▶教員が、企業・自治体などで講義・講演を行っています。

- ・弥富市が主催するセミナーで、くらしとお金をテーマに講演。
- ・尾張旭市が開催するセミナーで、子育てに関する講演。
- ・名古屋市教育委員会が主催するセミナーで、ワーク・ライフ・バランスに関する講演。
- ・小牧市が主催するセミナーで、食品と健康に関する講演。
- ・あま市が主催するセミナーで、読書に関する講演。

④連携講座

▶自治体と連携した講座を開催しています。

- ・日進市教育委員会との連携講座で「地域と地球を結ぶ SDGs 教育」「毎日をイキイキ生きるための心と身体」をテーマに、春と秋に開催。
- ・日進市教育委員会との連携講座（子供向け）で、映像に関する講座を開催。
- ・名古屋市教育委員会との連携事業で、能楽鑑賞に関する講座を開催。
- ・千種区役所と連携して本学教養教育科目「安全学」を千種区民向けに開放。
- ・千種保健所センターとの連携事業で「親子料理教室」「小学生クッキング教室」を開催。